

第六十四回帝國議會
衆議院

都市計畫法中改正法律案委員會會議錄(速記)第三回

會議

昭和八年三月二日(木曜日)午前十一時二十
六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 加藤隸五郎君

理事船田 中君

坂本 一角君

蔭山 貞吉君

出席政府委員左ノ如シ

內務政務次官 齋藤 隆夫君

內務書記官 飯沼 一省君

預金部長 川越 丈雄君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如
シ

簡易保險局長 平井 宣英君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

都市計畫法中改正法律案(政府提出、貴族
院送付)

住宅組合法中改正法律案(船田中君提出)

住宅組合ニ對シ償還資金給與ニ關スル法
律案(船田中君提出)

○加藤委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、都

市計畫法中改正法律案ノ質疑中デアリマス
ガ、便宜上暫ク是ハ後刻ニ譲リマシテ、船
田中君提出、住宅組合法中改正法律案、住
宅組合ニ對シ償還資金給與ニ關スル法律
案、之ヲ一括シテ議題ニ供シ、提出者ノ説
明ヲ求メタイト思ヒマス、御異議アリマセ
ヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○加藤委員長 御異議ナイト認メマス――

船田君

○船田委員 住宅組合法中改正法律案及住
宅組合ニ對シ償還資金給與ニ關スル法律
案、右二案ヲ一括シテ簡單ニ御説明ヲ申上
ゲマス、本會議ニ於キマシテモ説明申上
ゲマシタヤウニ、住宅組合法ガ制定セラレマ
シタノハ、大正十年デゴザイマシテ、是ハ其
當時住宅拂底ニ對スル救済對策ト致シマシ
テ、小住宅ヲ供給スルト云フ趣旨ノ下ニ設
ケラレタコトハ、皆御承知ノ通りデアリ
マス、隨テ所謂社會政策的ノ施設デアルト
云フコトモ言フヲ俟タナイノデアリマス、
而モ住宅組合法ノ適用ヲ受ケマスルモノ

ハ、總テ小住宅ニ限ラレテ居リマスルカラ、
隨テ住宅組合ニ加入ヲ致シテ居ル者モ、中
産階級以下ノ者ガ多數ヲ占メテ居ルト云フ
有様デアリマス、此前提ノ下ニ住宅組合法
ノ適用ヲ受ケマスル組合ニ對スル貸付金ノ
如キハ、其當時郵便貯金ノ利率ガ四分八厘
ニナツテ居リマシタカラ、隨テ四分八厘ノ低
利ヲ以テ貸付ルト云フコトニ致シテ居
タノデアリマス、隨テ其貸付、之ニ關聯スル色々
ナル事務ノ爲ニ必要ナル所ノ費用ハ、政府
自ラ之ヲ負擔スルト云フ建前ヲ執ツテ居
リマシタ所ガ、郵便貯金ノ利率ハ其後四分二
厘ニ下リ、現在ニ於テハ三分ニマデ低下シ
テ居ルノデアリマス、所ガ一方住宅組合ニ
對スル貸付金ノ利率ハ、昨年ノ暮ニ六厘方
低下サレタノデアリマスルケレドモ、一般
的ニハマダ利子ノ低下ガ實現サレテ居ラ
ナイノデアリマス、隨テ住宅組合法制定ノ趣
旨ニ鑑ミマシテ、即チ社會政策的ノ施設デ
アルト云フ建前ノ當然ノ結論トシテ、住宅
組合ニ對スル貸付金ノ利率ヲ政府ガ郵便貯
金ニ對シテ付ケル所ノ利率ノ最高率以下ニ

止メルト云フ必要ガアルノデゴザイマス、
ソレガ又理ノ當然デアラウト思ヒマス、ソ
レガ第一點デアリマス

次ニ住宅組合法ノ適用ヲ受ケテ居ル住宅
組合ニシテ、而モ住宅組合員ノ所有ニ係ル
住宅ガ、大正十二年九月一日ノ關東地方ノ
大震災ニ依テ滅失焼失ヲシタ、或ハ其後
京都府ニ於ケル所ノ震災ニ依テ滅失ヲ致シ
タト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、其住宅
ガ滅失致シマシタニモ拘ラズ、所謂地震約
款ノ結果ト致シマシテ、保險金ノ支拂ヲ受
ケナイ者ガアルノデアリマス、斯様ナ保險
金ヲ受取ルコトノ出來ナイ者ニ對シマシテ
ハ、政府ノ他ノ施設ノ均衡カラ申シマシテ
モ、震災救恤トカ云フヤウナ、何等カノ救
濟ヲヤツテヤル必要ガアルヤウニ考ヘラレ
ルノデアリマス、又住宅組合ニ屬スル所ノ
住宅ガ、震災ト云フヤウナ不可抗力ニ依テ
滅失焼失ヲシタノデナク、他ノ原因デアリ
マスケレドモ、此法案ノ第二號第三號ニ掲
ゲマシタヤウニ、組合員ガ死亡シテ其相續
人ガ曠缺シテ居ル場合、或ハ組合員ガ其住

付託議案

都市計畫法中改正法律案(政府提出、貴族院
送付)

住宅組合法中改正法律案(船田中君提出)

住宅組合ニ對シ償還資金給與ニ關スル法律案
(船田中君提出)

所又ハ居所ヲ去ッテ、現ニ生死不明ニナッタ

場合、斯ウ云フヤウナ場合ニ於テ住宅組合

員ガ自分ノ負擔金ヲ償還スルコトガ出來ナ

イ狀況ニ立至ッテシマッタ、所ガ住宅組合ニ

ハ御承知ノ通りニ連帶債務責任制度モアリ

マスル爲ニ、其負擔分ヲ他ノ組合員ガ加重

負擔セシムル、サウ云フ法律ノ適用ニナッ

テ居ルヤウデアリマスガ、其結果詰リ住宅

組合員ニ不可抗力ニ依テ全ク支拂ガ出來ナ

クナッタ者ガアルトカ、或ハ經濟上ノ激變ニ

依テ事實上支拂ガ出來ナクナッタト云フヤ

ウナ分子ガ出來マシタ時ニ、其住宅組合ニ

於キマシテハ他ノ組合員ガ其當該組合員ノ

分マデモ負擔シナケレバナラヌト云フ必要

カラ、段々其一人ノ組合員ノ支拂能力ノ不

能ト云フコトガ、他ノ組合員マデ影響ヲ及

ボシマシテ、全體ノ組合員ガ其支拂ヲ躊躇

スル、或ハ支拂ヲ拒ムト云フヤウナ状態ニ

ナッテ來ルノガ多イノデアリマス、デ政府ノ

方デハ預金部カラ府縣ノ如キ地方公共團體

ヲ通ジテ組合ニ貸付ケテ居リマスルカラ、

預金部ト府縣トノ間ニ於テハ債權ノ回收ト

云フコトニ付テソレ程困難ガナイヤウデア

クナッタト云フ組合ガアル爲ニ、其償還ガ出

來ナイ、即チ政府カラ府縣ヲ通ジテ貸出サ

レタ住宅資金ニ對シテ住宅組合ハ府縣ニ對

シテ償還ガ出來ナイ、其結果ハ地方團體ニ

非常ナル影響ヲ及ボシマシテ、結局地方團

體ガソレダケ餘分ノ負擔ヲシナケレバナラ

ス、即チソレハ何等カノ形ニ於テ府縣ノ一

般ノ人々ニ轉嫁サレルト云フコトニ相成ル

ノデアリマス、左様ナ次第デアリマスルカ

ラ、此二ツノ法案ヲ提出致シマシタ趣旨

ハ、要スルニ已ムヲ得ズ償還不能ニ陥リ、

或ハ經濟上ノ激變ニ依テ償還不能ニ陥リ、

其爲ニ組合ガ政府ニ對シテ政府貸付金ノ償

還ガ出來ナクナッタト云フ者ニ對シテ之ヲ

救済シ、之ヲ改善シテ、其償還ヲ容易ク出來

ルヤウニスルコトヲ主眼トシテ立案サレテ

居ルノデアリマス、斯様ナ次第デアリマシ

テ、是ハ事柄ガ極メテ地味デアツテ、小サナ

關係ニナッテ居ルヤウニ見エマスルケレド

モ、地方團體トシテハ非常ナ大キナ影響ガ

アリ、殊ニ中産階級以下ノ人々ニ對スル施

設ノ中ニ於テ、可ナリ廣範圍ニ互ル問題デ

アリマスルカラ、各位ニ於カレマシテモ此

趣旨ヲ能ク御承下サレテ、御賛成ヲ得タ

イト思フノデアリマス

○加藤委員長

ドナタカ質疑ガゴザイマス

カ

○蔭山委員

只今ノ船田君ノ御意見ニ對シ

テ、政府ノ御所見ヲ一遍伺ヒタイト思ヒマ

ス

○齋藤政府委員

今提案ノ理由ヲ承リマシ

タガ、此法律案ニ付キマシテハ内務省バカ

リデナクシテ、大藏省ノ方ニモ少シ關係シ

テ居リマスノデ、大藏當局ト能ク打合セマ

シテ御答ヲ致シタイト思ヒマスカラ、政府

ノ所見ダケハ御延シテ願ヒタイト思ヒマス、

最近モウ一遍才開キテ願ヒマシテ、其時ニ

十分政府ノ意見ヲ申述ベタイト思ヒマス

○蔭山委員

ソレデ結構デアリマスガ、今

ノ御意見ニ依リマス、大藏省ノ方ト云フ

ノハドツチノ方デスカ

○齋藤政府委員

主計局ノ方デス

○加藤委員長

御諮リ致シマス、只今提案

者ノ説明ガアリ、政府カラハ暫ク考慮サセ

テ貰ヒタイト云フコトデアリマスカラ、本

案ニ對スル質疑ハ此程度ニシテ置キマシテ、

他日適當ナ機會ニ繼續スルコトニ致シマス

——次ニ都市計畫法中改正法律案ノ質疑ヲ

繼續致シタイト思ヒマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○船田委員

私ハ先日蔭山君及委員長ガ之

ニ關聯致シマシテ、政府ニ對シ質問ヲサレマ

シタコトニ相關聯スルノデアリマシテ、二

三ノ點ヲ極メテ簡單ニ御尋シタイト思ヒマ

ス、一ツハ都市計畫實施ニ關スル根本ノ問

題ニナルカト思ヒマスガ、從來モ可ナリ廣

ク論議サレテ居ル問題デアリマスガ、其一

ツハ此都市計畫ヲ實施スルニ付キマシテモ

ウ少シ權威アル機關ヲ以テ、廣イ範圍ニ於

テ行ハナケレバ其目的ハ達セラレナイ、又

大藏省方面ニ於テモ相當之ニ對スル同情ト

理解トヲ有タナケレバ出來ルモノデナイト

設ガ出來マシタ爲ニ、都市計畫ヲ實行シテ
行キマス上ニ於テ、益、問題ガムツカシク
ナッテ參ルノデアリマスガ、サウ云フ根本的
ノ問題ニ付キマシテハ、政府トシテハドウ
云フヤウナ方針デアリマスカ、其點ヲ先ヅ
伺ヒタイノデアリマス

○齋藤政府委員 船田君ノ御質問ノ御趣旨

ハ、詰リ都市計畫事業ノ統制トカ、統一トカ
云フコトニナリハシナイカト思フノデアリ
マス、此點ハ今日都市計畫事業ヲ遂行スル
上ニ於キマシテ、サウ云フコトニ關スル法
規ノ完備シタルモノハナイノデアリマス、
故ニ各省ガ都市計畫ニ直接若クハ間接ニ關
係アリマスル事業ヲ行フニ當リマシテハ、
法規ノ根據ニ依ラズシテ、事實的ニ諸般ノ
交渉ヲヤツテ、サウシテ都市計畫事業ニモ差
支ハナク、又其事業ノ目的ニモ支障ヲ來サ
ナイヤウニ、圓滿ニ協調スルヨリ外ニ途ハ
ナイト思ヒマス、例ヘバ御話ノアリマシタ
航空路新設ニ付テモ或ハ鐵道ノ軌道ヲバ新
設スル、或ハ港灣、河川ヲバヤルト云フコ
トニナリマシテモ、鐵道省ガ都市計畫ノ區
域内ニ於テ新ニ鐵道ヲ敷設スル、斯フ云フ
場合ニ於テ、都市計畫課ニ向ッテ交渉シテ、
其同意ヲ得ナクテハナラヌト云フヤウナ法
規ハナイノデアリマス、殊ニ都市計畫ハ内

務省ノ管轄デアリマスルガ、内務省ノ管轄

ニ屬スル河川、港灣、道路ヲ新設スルニ當
リマシテモ、都市計畫課ノ方ノ同意ヲ要ス
ルト云フヤウナ法規モナイノデアリマス、
是ハモウ法規ノ根據ニ依ラズシテ、事實的
ニ成バクソレバ圓滿協調ヲ圖ルト云フコ
トヨリ外、今日ヤリ方ハナイト思ヒマス、
之ヲ改メテ法規ノ根據ヲ拵ヘルト云フコ
トニナリマス、各省ノ官制カラシテ餘程
ソレヲ改メナケレバナラスノデアリマス、
各省ノ官制ハソレノ長イ間ノ歴史的事
由ガアリマスカラシテ、是ヲ俄ニ改正ス
ルコトハ中々困難ナコトデアリマス、併シ
繰返シテ申上ゲマスルガ、實際上ニ於キマ
シテハ色々事實的ニ交渉致シマシテ、成ベ
ク都市計畫ノ事業ニ支障ノナイヤウニ是マ
デ致シテ居ルノデアリマス、又將來モ致ス
積リデアリマス、左様ニ御諒承願ヒマス

○船田委員 只今齋藤次官ノ御説明ハ洵ニ
御尤ダト思フノデスガ、此都市計畫ノヤウ
ナ仕事ハ、相當根本的ニ計畫ヲ樹テ、實施
スル必要ノアル問題デゴザイマシテ、法規
ノ上ニ於テノ不備モ可ナリ多イト思フノデ
アリマス、私ノ言フヤウナコトヲ實施スル
ニ於テハ、或ハ單純ニ都市計畫法トカ、或
ハ建築物法トカ云フモノニ依ル程度ノモノ

デハイケナイノデアリマス、モウ少シ大キ
ナ計畫ニナラナケレバナラスト思ヒマス、
之ヲ外國ノ都市計畫ト云フヤウナモノニ較
ベマス、日本ノ都市計畫ト云フモノハ餘
リニ局地的デアッテ、ソシテ殊ニ地域的ニ於
テモ、或ハ他ノ施設トノ間ニ於テモ、綜合
的ニ統一サレタモノガナイト云フ嫌ヒガ極
メテ多イヤウニ思フノデアリマス、併シ此
處デ其根本問題ヲ論議シヨウト言フノデハ
アリマセヌ、齋藤次官ノ氣持ハ能ク分リマ
シタカラ、是レ以上此根本問題ニ付テハ論
ジマセヌガ、實施上ニ付キマシテ、例ヘバ
内閣ノ認可制度ヲ廢シタト云フ理由ハ、此
處デ御説明ニナッテ居リマスヤウニ、單純ナ
事務簡捷、手續ノ省略ト云フヤウナモノデ
アリマセウカ、或ハ何等カモウ少シ深イ意
味ガアルノデセウカ、其點ヲモウ一應ハッキ
リサセテ戴キタイト思ヒマス

○飯沼政府委員 都市計畫ノ區域ヲ、決定

致シマスニ付キマシテ、内閣ノ認可ヲ廢メ
マシタノハ、先日政務次官カラモ説明ヲ申
上ゲマシタヤウニ、主トシテ事務簡捷ト云
フ趣旨デ認可制度ヲ廢止致シマシタ、ソレ
ハ是マデノ經驗ニ依リマス、各都市ニ於
キマシテ都市計畫法ヲ適用シタイト云フ希
望ヲ以チマシテ、市會ノ決議等ヲ内務省ノ

方ヘ出シテ參リマス、ソレカラ勅令ヲ以テ

都市ヲ指定致シマシテ、借テ先ヅ第一ニ都
市計畫區域ガ決マリマセヌケレバ計畫モ立
テラレナイ、區劃整理モ施行出來ナイト云
フヤウナ關係ニナッテ居リマスノデ、先ヅ都
市計畫區域ヲ決メヨウト云フノデ其手續ヲ
進メルノデアリマスガ、是マデノ例カラ致
シマス、ドウシテモ此都市計畫區域ヲ決
メマスノニ、矢張相當調査ヲ致サナケレバ
ナリマセヌ關係上、長イノニナリマス、ト一
年以上モ其間ニ期間ガ經過シテシマフト云
フヤウナコトガ少クナイノデアリマス、サウ
云フヤウナコトデアリマシテハ、急イデ何
カ計畫ヲ立テナケレバナラス、或ハ火事ノ
燒跡ヲ早く區劃整理ヲヤラナケレバナラス
ト云フヤウナ場合ニ、間ニ合ハナイト云フ
ヤウナコトガ起ッテ來ハシナイカト思フ、ト
云フヤウナコトヲ考ヘマシテ、都市計畫區
域ノ決定マデハ成ベク早く手續ヲ濟マセテ
シマッテ、何時デモ區劃整理モ出來レバ、
其他ノ計畫モ樹テラレルト云フコトニシテ
置キタイト云フノガ、此都市計畫區域ニ關
スル今回ノ改正ノ第一ノ考デゴザイマス、
ソレカラ又是マデ、都市計畫區域ガ各都市
ニ於テ決ッテ居リマスガ、大部分ハ周圍ノ町
村ヲ含シテ都市計畫區域ヲ決メテ居リマス

ケレドモ、是カラ段々町村ニマデ適用ヲ擴
ゲテ參リマス、市町村ノ區域ダケヲ先ヅ
都市計畫區域トシテ差當リ決メテ、ソレカ
ラ差支ナイモノモ段々出テ來ハシナイカト
思ヒマス、サウ云フヤウナ場合ニハ是ハ當
然ノ話デアリマシテ、他ノ意見ヲ聽キ、若
クハ内閣ノ認可ヲ受ケルト云フヤウナコト
ガ必要デナイヤウニ考ヘマスノデ、サウ云
フ場合ニ於テハ主務大臣限りデ之ヲ決定ス
ルト云フコトニ致シタノデアリマス、又假
ニ周圍ノ町村ヲ含シテ都市計畫區域ヲ決定
致シマス場合ニ於キマシテモ、重要ナモノ
ハ寧ロ計畫自體デアリマシテ、都市計畫區
域其モノハソレ程重要デハナク、都市計畫
事業ニ付テノ内閣ノ認可ト云フ現在ノ制度
ヲ殘シテ置キサヘスレバ、都市計畫ノ區域
ニ付テハ別ニ内閣ノ認可ヲ受ケルト云フコ
トノ重要ナ關係モナカラウカト考ヘマシ
テ、事務簡捷ト云フ點カラ内閣ノ認可ヲ廢
シタ次第デアリマス

○船田委員 只今都市計畫課長ノ御説明ニ
ナツタ點ハ諒承致シマシタガ、是ハ私ノ少シ
行キ過ギタ考カモ知レマセヌガ、都市計畫
區域ヲ決定スルニ付テモ内閣ノ認可制度ヲ
設ケタト云フコトハ、要スルニ先程次官ニ
御尋シタヤウナ、都市計畫ト云フコトガ根

本的ナ、又相當廣範圍ニ互リ、永久的ニ影
響ヲ及ボス事業デアアル、斯ウ云フ所カラ内
閣ノ認可ト云フ制度ガ出來タノデナイカト
思フノデスガ、今仰セノヤウナ點ニ於テハ、
事務簡捷ニナルデアリマセウガ、サウ云フ
根本的ニ大キナ問題ニナツタ時ニハ、内閣ノ
認可制度ガアルコトニ依テ、所謂綜合的ノ
計畫ト云フモノガ出來得ルト思フノデアリ
マス、サウ云フ場合ヲ御考ヘニナラナカッ
トデアルカドウカ、此點ヲ一ツ御伺シタイ
ト思フノデアリマス

○飯沼政府委員 將來綜合的ノ計畫ヲ廣イ
地域ニ互ッテ立テナケレバナラヌ場合ニ、都
市計畫區域ノ關係ガドウカト云フ第一ノ御
質問デアリマスガ、東京ヲ中心ト致シマス

ル地方、或ハ名古屋ヲ中心トスル地方、或
ハ京阪神地方ニ於キマシテ、或ル一ツノ都
市ダケヲ擱ヘテ計畫ヲスルダケデハ不十分
デアリマス、其一ツノ都市ヲ計畫致シ
マス前ニ、先ヅ其地方全體ノ計畫ヲ豫メ立
テ、置キマシテ、ソレニ基キマシテ各都市
ノ計畫ヲ立テル必要ガアリハセヌカト云フ
コトヲ私共近頃考ヘテ居ルノデアリマシテ、
何トカサウ云フヤウナ途モ段々ト開キ、且
ツ調査研究ヲシタイト考ヘテ居ルノデアリ
マスガ、サウ云フ場合ニ都市計畫區域ガド
ウ云フ風ニナルカト云フ問題ニ付キマシテ
ハ、是ハ矢張今ノ都市計畫區域ト云フノト
ハ全く別ナ、何ト申シマスカ、地方計畫トデ
モ申シマスカ、サウ云フ計畫區域ガ必要ニ
ナルノデハナイカト思ハレマス、詰リ非常
ニ廣イ地方計畫區域ノ中ニ、澤山ノ都市計
畫區域ガ抱擁サレルト云フヤウナコトニナ
リマスノデ、都市計畫區域其ノモノハ餘リ
廣イ區域ヲ取ルト云フコトハ如何カト考ヘ
テ居リマス、例ヘバ先程例トシテ御示シ
ナリマシタ東京、横濱ノ計畫ニ致シマシテ
モ、矢張東京、横濱ヲ一ツノ都市計畫區域ノ
中ニ入レルト云フコトハ、是ハ少シムヅカシ
クハナイデアラウカ、矢張東京ノ都市計畫、
又川崎ノ都市計畫、横濱ノ都市計畫ト云フ

モノガ集リマシテ、別ナ計畫區域ニナルノ
デハナイカト云フヤウナコトヲ考ヘテ居リ
マス、只今マダ具體的ニドウト云フ考ヲ有ッ
テ居リマセヌノデ、其事ニ付キマシテハ、
尙ホ將來十分ニ調査研究ヲ致シタイト考ヘ
テ居リマス

ソレカラ第二ノ御質問デアリマシタ市ニ
對シテハ、全部今度都市計畫法ガ適用ニナ
ル、又町村ニ付キマシテハ、内務大臣ノ指
定シタ町村ニ斯ウ云フ法律ガ適用サレルコ
トニナルノデアリマスガ、是ハ市ニ對シマ
シテハ當然都市計畫法ガ及ブ譯デアリマス
ガ、總テノ市ニ何カ強制的ノ仕事ヲヤラセ
ルト云フマデノ考ハ實ハ有ッテ居リマセヌ、
都市計畫ト云フモノヲ立テ、都市計畫事
業ト云フモノヲ決定致シマスニ付キマシテ
ハ、矢張其各市ニ於キマシテ、サウ云フ考
ヲ有ッテ居リマセヌケレバ、計畫ヲ立テマシ
テモ、ソレヲ實現スル上ニ於テ色々ノ困難
モアリマスカラ、出來ルダケ市ノ方ト相談
ヲ致シマシテ、都市計畫並ニ都市計畫事業
ヲ決定シテ參リタイト思ッテ居リマス、町
村ニ付キマシテモ、是ハ内務大臣ガ指定ス
ルコトニナツテ居リマスガ、ドウ云フ町村ヲ
指定シテ參リマスカ、何カ一定ノ標準ヲ内
務省ニ於テ作ルヤウナ必要ガ將來起ッテ來ル

ト考ヘテ居リマスガ、是モ原則トシテハ矢張法律ノ適用ヲ受ケルコトヲ希望スル町村ヲ指定シテ行クト云フコトヲ、原則トシテ參リタイト考ヘテ居リマス、唯町村ニ依リマシテハ其周圍ノ町村ノ關係上、假ニ町村自體ト致シマシテハ、餘リニ希望シナイヤウナ所デアリマシテモ、場合ニ依リマシテ内務大臣ガ指定ヲシテ、矢張都市計畫區域ノ中ニソレヲ入レテ行クト云フヤウナ必要ノアル町村モアルカト考ヘテ居リマス

○船田委員 只今ノ御説明ニ依テ諒承致シ

マシタ、次ニ私ノ御尋シタイコトハ、都市計畫實施上ノ二、三ノ問題デアリマス、例ヘバ都市計畫法ノ實施ノ結果、東京市ニ於テハ商業地區デアルトカ、或ハ工業地區デアルトカ、住宅區域デアルトカ云フヤウナ區域的ニ、區域ガ平面的ニ區分ヲサレルノデアリマスガ、所ガ是ハ實際ニ商業バカリデナク、商取引以外ノ經濟關係ニモ非常ナ影響ヲ受ケルコトガ多イノデアリマス、其一例ヲ申シマスレバ、或ハ金座通りノ道路ハ立派ニ出來テ都市計畫ノ實行上ニ於テハ洵ニ遺憾ガナイノデアリマスガ、其結果彼ノ方面ニ於ケル商業地域ト云フモノニ制限ヲサレマシテ、住宅ヲ建テルコトハ出來ナイ、斯ウ云フコトニナッテ來ルト云フト、隨分經

濟上ニ影響ガ大キイノデアリマス、其爲ニ今日ニ於テハ却テ東京ノ下町ヨリモ新宿ヲ中心トシタル、詰リ背後ニ消費階級ヲ澤山持ッテ居ル地區ガ繁昌スル、サウシテ而モ新宿ノ交通其他ノ關係ヲ考ヘルト云フト、是非非常ニ其爲ニ影響ヲ受ケテ來ルト云フヤウナ關係ニナルノデ、今迄ノハ都市計畫ノ實行ガ總テ平面的ニバカリ考ヘラレテ居ッタノデアリマスガ、是ハ建築物法トノ關係ニ於テ、何等カ將來ニ於テハ立體的ニ整理ヲシテ行クト云フ必要ガアルノデヤナイカ、又サウ云フコトニ付テ、政府ハドウ云フ御方針デ御進ミニナルノデアリマセウカ、其點ヲ一ツ御伺シタイ

ソレカラ次ニハ都市計畫ノ實行ト都市美ト云フコトデスガ、是モ主トシテ建築物法ニモ關係ガアルノデアリマス、例ヘバ最近ノ實例ニ依リマシテモ、鐵道省ガ眞ッ先ニ旅客ヲ吸收スル爲ニ非常ニ俗惡ナ廣告ヲ出スト云フヤウナ實例モアッタノデアリマス、ソレカラ何ト云ッテモ日本ノ都市デ一番目ニ著クモノハ街路ニアル所ノ架空線ノ問題デアリマスガ、サウ云フヤウナ俗惡ナ廣告ダトカ、架空線ダトカ云フコトノ整理ニ依リ、都市美保存ト云フコト、都市計畫ノ調和ト云フモノガ、寧ロ都市計畫實行ノ主

タル目的、主タルト云ッテハ惡イカモ知レマセヌガ、實際上ニ現レタ效果トシテハ、道路ガ廣クナッタト云フバカリデハイケナイノデ、ソレト同時ニ都市美ヲドウスルカト云フ問題ガソコニアラウト思ヒマス、殊ニ例

ヘバ東京市ノ耕地整理ノ問題、斯ウ云フヤウナモノガアリマスガ、サウ云フモノト都市計畫實行上トノ關係、其點ヲドウ云フ風ニサレテ行クノデアルカ、斯ウ云フコトヲ伺ヒタイ

モウ一ツ序ニ御伺致シタイコトハ、私ガ今申上ゲタヤウナコトヲ實現スル一ツノ方法トシテ、都市計畫ノ委員會ニ對シマシテ、中央委員會ニ於テハ各方面ノ相當ナ權威者ヲ加ヘル、今モ相當ナ人ガ入ッテ居ラレルヤウデアリマスガ、ソレヲ更ニ進ンデ各方面ノ有力ナ權威者ヲ加ヘルト云フコト、例ヘバ各政黨ノ幹部ヲ加ヘルト云フヤウナコトモ一ツノ方法デアリマセウ、ソレカラ地方ノ委員會ニ於キマシテモ同様デアリマシテ、今日ニ於テハ關係ノ市會議員ハ官制上當然入ルコトニナッテ居リマスガ、市會議員ヨリモ寧ロ商工會議所議員ト云フヤウナ者ノ方ガ、利害關係ヲ痛切ニ有ッテ居ル者ガ多イヤウナ場合ガ多アル、隨テ商工會議所議員ヲ地方委員會ニ官制上當然入レテ宜イノデヤナイカト思フノデアリマス

ガ、サウ云フヤウナ點ニ付テ政府ハドウ御考ヘニナッテ居リマスカ、其點ヲ御差支ノナイ限り伺ッテ見タイト思ヒマス

○飯沼政府委員 地域ノ關係ニ付キマシテ

ノ御質問デゴザイマスガ、東京ノ何ト申シマスカ、所謂下町地方、是ハ只今御話ノ通り商業地域ト云フコトニナッテ居リマシテ、法律ノ規定ノ上デハ、商業ノ利便ヲ害スルヤウナ建物ヲ建テルコトヲ禁止致シテ居リマス、隨テ法律ノ上デハ別ニ商業地域デアリマシテモ、住宅ヲ建テルコトハ一向差支ナイコトニナッテ居ルノデアリマスガ、併シ商業地域ト云フ關係カラ、或ハ只今御話ノヤウニ、段々住宅ト云フモノガサウ云フ所カラ少クナッテ來ルト云フヤウナ結果ニ、或ハナリツ、アルノカト考ヘマス、是ハ都市計畫トシテ地域ヲ決定致シマス際ニ、商業地域ヲドウ云フ風ニ決メルカ、又住居地域ヲドウ云フヤウニ決メルカト云フコトノ問題ニナリマスコトデアリマシテ、私共ソレ等ノ點ニ付キマシテ、尙ホ十分ニ今後ノ問題ト致シマシテ研究シテ參リタイト思ヒマス、ソレカラ立體的整理ト云フコトノ御話ガゴザイマシタガ、其意味ガ一寸分リ兼ねマシタノデアリマスガ、或ハ建物ノ高サノ問題デアリマセウカ、若シ建物ノ高サニ付

テ何カ適當ナ統制ヲ圖レト云フヤウナコトデアルト致シマスレバ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ矢張此商業地域、住居地域ト云フヤウナモノト關聯致シマシテ、建物ノ高さニ付テノ統制ヲ圖レテ居ル譯デアリマシテ、ソレノ場合ニ於テ餘リ高イ建物ハ出來ナイト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、無論サウ云フ點ニ付テノ必要ハ十分都市計畫ニ於テモ認メテ居ル譯デアリマス

第二ノ都市美ノ保存ノ問題ニ付キマシテハ、市街地建築物法中ニアリマス美觀地區ト云フ制度、茲ニ都市計畫法中ニアリマス風致地區ト云フ制度、此二ツノ制度ヲ出來ルダケ活用スルコトガ必要ト存ジマシテ、目下調査ヲ進メテ居ルノデアリマスガ、只今ノ御話ハ主トシテ市街地ニ於ケル美觀ノ問題ト考ヘマス、最近東京市ニ於テ都市計畫トシマシテ、初メテ丸ノ内一帯、宮城周圍ノ一帯ノ地區ヲ、美觀地區トシテ指定スル案ヲ立テマシテ、只今東京地方委員會ニ付議中デアリマス、美觀地區ガ決定致シマスレバ、其地區内ノ建物ノ美觀、其他廣告ノ取締等ニ付キマシテモ相當ノ取締ガ出來ルコト、考ヘテ居リマス、又墓地ノ點デアリマスガ、是モ都市計畫トシテ墓地ヲドウ云フ所ニ置クカト云フコトハ決メ得ルコトニナッテ居ルノデアリマシテ、現在ノ東京市ノ大キナ墓地ハ會テ都市計畫トシテ決定サレタモノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテモ、今後尙ホ東京其他ノ都市ノ墓地計畫ヲ段々進メテ參ル積リデアリマス、ソレカラ委員會ノ御話モゴザイマシタガ、地方委員會ニ於キマシテ商工會議所ノ議員ヲ委員中ニ加ヘタラドウカト云フ御話デアリマシタガ、委員會官制ノ規定ノ上デハ、商工會議所ノ議員ヲ、議員ト云フ肩書ヲ付ケマシテ委員ニスルコトハ認メテ居リマセヌガ、併シ今日大部分ノ委員會ニ於テハ商工會議所關係ノ——大抵金額ノ方デアラウト思ヒマスガ、學識經驗アル者ト云フコトデ、地方委員會ノ委員ノ中ニ入ッテ居ルヤウナ状態デアリマス、唯商工會議所云々ト云フ肩書ヲ付ケテ委員トスルヤウニ規定ヲ改正致シマスコトハ、他ノ同様ノ會トノ關係モアリマシテ、今直チニサウ云フコトハ善イカドウカト云フコトニ付キマシテハ餘程研究ヲ要スルコト、考ヘマス

第二階以上ニ事務所トカ住宅——恐ラク將來東京市内ノ如キハ大キナ「ビルディング」ハ二階、三階、或ハソレ以上ニナルト住宅、住居ニ使フモノガ多々出來テ來ルダラウト思ヒマス、サウ云フ場合ニ、詰リ都市美保存ト云フコトヲ、今ノ中カラ之ヲ相當整理シテ置ク必要ガアルノデハナイカト云フコトヲ考ヘタガ爲ニ、其事ヲ御伺致シタ譯デアリマス、ソレカラ地方委員會ニ商工會議所ノ議員ヲ入レルコトノ問題ニ付キマシテハ、學識經驗アル者トシテ現ニ入ッテ居ルカラト云フ御話デアリマシタガ、市會議員ガ入ッテ居リ、ソレカラ道府縣會議員ガ入ッテ居ルノデアリマスカラ、矢張職業的代表ト云フ意味ヲ加ヘテ、商工會議所ナリ、或ハ農會トカ云フヤウナ公認メラレタ團體ノ議員ヲ、其資格ニ於テ入レルト云フコトハ、權衡上カラ云ッテモ、當然デハナイカト思フ、併シ是ハ是レ以上何モ質問シテ政府ノ言責ヲ求メルト云フ意味デハアリマセヌ、唯私ノ希望ヲ申上ゲタノデアリマス、私ノ御尋申上ゲタイコトハ以上ノヤウナモノデアリマス、唯立體的ノ問題ニ付キマシテ、何カ御腹案ガアレバソレヲ承ルコトニシテ、質問ハ是ダケニ致シテ置キマス

○船田委員

大體分リマシタガ、先程私ガ立體的整理ト云フコトヲ申シマシタノハ、勿論建物ノ高サモアリマスガ、其建物ノ例ヘバ第一階ニハ商店ト云フモノガアッテモ、

第二階以上ニ事務所トカ住宅——恐ラク將來東京市内ノ如キハ大キナ「ビルディング」ハ二階、三階、或ハソレ以上ニナルト住宅、住居ニ使フモノガ多々出來テ來ルダラウト思ヒマス、サウ云フ場合ニ、詰リ都市美保存ト云フコトヲ、今ノ中カラ之ヲ相當整理シテ置ク必要ガアルノデハナイカト云フコトヲ考ヘタガ爲ニ、其事ヲ御伺致シタ譯デアリマス、ソレカラ地方委員會ニ商工會議所ノ議員ヲ入レルコトノ問題ニ付キマシテハ、學識經驗アル者トシテ現ニ入ッテ居ルカラト云フ御話デアリマシタガ、市會議員ガ入ッテ居リ、ソレカラ道府縣會議員ガ入ッテ居ルノデアリマスカラ、矢張職業的代表ト云フ意味ヲ加ヘテ、商工會議所ナリ、或ハ農會トカ云フヤウナ公認メラレタ團體ノ議員ヲ、其資格ニ於テ入レルト云フコトハ、權衡上カラ云ッテモ、當然デハナイカト思フ、併シ是ハ是レ以上何モ質問シテ政府ノ言責ヲ求メルト云フ意味デハアリマセヌ、唯私ノ希望ヲ申上ゲタノデアリマス、私ノ御尋申上ゲタイコトハ以上ノヤウナモノデアリマス、唯立體的ノ問題ニ付キマシテ、何カ御腹案ガアレバソレヲ承ルコトニシテ、質問ハ是ダケニ致シテ置キマス

店ガ出來ル、或ハ住宅ガ出來ルト云フコトハ、是ハ御話ノ通り大分近頃殊ニ東京市内ノ防火地域等ニ於キマシテ、高イ建物ガ出來マシテ、一階ヲ商店ニ使ヒ、二階以上ヲ住宅ニ使フト云フノハ澤山出テ參リマシタ、オ五ニ其目的ガ他ノ妨害ヲスルヤウナモノデアリマセヌケレバ、一ツノ建物ノ中ニサウ云フヤウナモノガアッテモ差支ナイノデハナイカ、殊ニ商業地域、住宅地域ト云フヤウナ地域ノ制度ニ違反セザル限り、サウ云フヤウナモノガ一ツノ建物ノ中ニアルコトハ差支ナイト考ヘマス、今日ノ所未ダ甚シキ不都合ガアルト云フヤウナモノモナイヤウニ考ヘテ居リマス、御話ノ點ハ至極御尤ト考ヘマスノデ、今後高イ建物ノ益、出來テ參リマスル今日ノ状態カラ考ヘマシテ、只今ノ御話ノ點ハ能ク調査シテ參リタイト思ヒマス

○加藤委員長

只今船田君ノ御質疑ニ關聯シテ私ヨリ極ク簡單ニ御尋シタイト思フ、船田君ノ御質疑中ニ、都市計畫ニ對スル全體ノ聯絡ト申シマスルカ、統制ノ機關ガナイ、之ヲドウスルカト云フコトニ對シテ政府ノ御答辯ハ、別ニ法規ガナイカラ協調シテ圓滿ニヤルト云フヤウナ御答辯デアッタノデアリマスルガ、聞ク所ニ依リマスルト、都市計畫デ或ル計畫ヲ致

シタルニ拘ラズ、鐵道省トカ何トカガ勝手氣儘ニ之ヲ破壊スルコトヲヤツテ居ルヤウナ實情ヲ多々見受ケルノデアリマス、然ルニ都市計畫法ノ第三條ニ依リマスト云フト「都市計畫事業ハ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ主務大臣之ヲ決定シ内閣ノ認可ヲ受クヘシ」斯ウ云フ風ニナツテ居リマスガ故ニ、内閣ノ認可ヲ受クベシト云フコトニナツテ居ルノヲ鐵道省ナドガ勝手ニヤルト云フコトハ、明ニ都市計畫法ノ第三條ノ趣意ヲ没却シタモノデアラウト思ヒマスノデアリマスガ、是ハ唯内閣ノ認可ヲ受クベシト輕ク見テ居ラレルノデア

ルカドウカ、モウ一ツ船田君ヨリ御質問ガゴザイマシタガ、今中央委員會ト云フモノニ學識經驗アル者ヲ入レルトカ、關係各省ノ高等官ヲ入レルト云フコトニナツテ居リマスルガ、是等ノ中央委員會ノ議ヲ經テ主務大臣ガ其計畫ヲ決定シテ、内閣ノ認可ヲ受ケタナラバ、是ハ左様ニ容易ク破壊サルベキモノデヤナイト思フ、所ガ聞ク所ニ依リマス、中央委員會ト云フモノハ餘リ開カレヌト云フコトヲ聞クガ、何ガ爲ニ開カヌ

ノカ、開ク必要ヲ認メザルカ、然ラバ中央委員會ハ必要ナキカ、今ノ統制ト申シマスカ聯絡ノ上ニ於テ、此中央委員會ト云フモノガ最モ權威ヲ發揮シナケレバナラヌト思フ

ノデアアル、然ルニ中央委員會ヲ開カヌト云フコトヲ聞キマスガ、是ハ開ク必要ヲ認メザルカ、斯ウ云フコトニ付テ御答辯ヲ得タウト思ヒマス

○飯沼政府委員 法律ノ第三條ノ都市計畫事業等ヲ決定スル場合ノ、内閣ノ認可ノ問題ニ付テ御尋デアリマスガ、無論此都市計畫ヲ決定致シマスル場合ニハ、其計畫ガ將來實行出來ナク相成ルコトヲ決シテ豫想シテ居ル譯デモアリマセヌシ、又總テノ施設ガ其計畫ニ順應シテ行ハレルコトヲ希望シテサウ云フ線ヲ引クノデアリマスガ、是迄或ハ只今御話ノヤウナ都市計畫若クハ都市計畫事業トシテ決定致シマシタ線ト一致シナイヤウナ施設ガ、各地方ニ於テ聞々現レルコトガ或ハアルカモ知レマセヌ、是ハ併シ内閣ノ認可ヲ受ケタマケデハ、現在ノ制度ト致シマシテドウモ内閣ノ認可ヲ受ケタカ

ラト云ウテ、他ノ行政官廳ニ對シマシテ其計畫ガ内閣ノ強制力ヲ持ツト云フ迄ニハ、或ハ少シ無理ガアルノデハナイカト考ヘマス、他ノ行政官廳モ其計畫線ニ從フト云フコトノ爲ニハ、或ハ尙ホ内務省ト致シマシテ手ヲ盡スベキ手段ガ殘ッテ居ルノカトモ考ヘマス、先程政務次官カラ御答ガアリマシ

タヤウニ、内務省ト致シマシテハ出來ルダケ各方面ト聯絡ヲ取りマシテ、一遍決メタ計畫ガ後カラ他ノモノニ依テ壞サレテ行クト云フコトノナイヤウニ致シタイ積リデ居リマス

ソレカラ中央委員會ハ問題ニ付テノ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ今日ノ官制ノ條文ヲ見マス、專ラ一地方ニ關スルモノハ地方委員會ノ議決ヲ經ベク、其他ノ事項ニ付テハ中央委員會ノ議決ヲ經ル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、所ガ是迄多ク問題トナリマシタ事柄ハ、大體皆一地方ニ關スルモノデアリマシテ、地方委員會カラ議決ノ權限ヲ取上ゲテ、中央委員會ニ掛ケルコトガ適當デアルトマデ考ヘラレルモノガ、實ハ起リマセナカッタ爲ニ、中央委員會モ久シク之ヲ開會スル機會ガナカッタヤウナ譯デアリマス、隨テ場合ニ依リマシテハ中央委員會モ行政整理ノ一ツノ項目ノ中ニ入ッタヤウナコトモアルノデアリマスガ、都市計畫ノ統制ト云フコトニ付キマシテ段々御説モゴザイマスノデ、尙ホ私共ト致シマシテ、中央委員會ヲドウスルカト云フコトニ付キマシテハ、研究ヲ致シタイト思フテ居

リマス

○加藤委員長 中央委員會ノ經費ト云フモノハ豫算ノ上カラ削除サレテアルノデアリ

マスカ

○飯沼政府委員 中央委員會ノ經費ハ今日アリマセヌ

○加藤委員長 アリマセヌト云フノハ從來アツクノヲ取ツクノデアリマスガ、取ツク爲ニ經費ガナクテ會議ヲ開クコトハ出來ヌト云フノデスカ、ソレハドウ云フ意味デスカ

○飯沼政府委員 會議ヲ開クコトハ是ハ經費ガナクテモ出來ルノカモ知レマセヌ、從來中央委員會ノ經費ト云フモノハ多少アツタノデアリマスガ、是ハ今日デハ既ニナクナツテ居リマス

○加藤委員長 無クナツタト云フノハ取ラナカッタト云フコトデスカ、例ヘバ昭和八年度ノ豫算ノ中ニハ是ガナイノデスカ

○飯沼政府委員 昭和八年度ノ豫算ニハアリマセヌ

開カスト云フコトニ私共諒承シテ宜シイノ
デアリマスガ、必要ハアツテモ豫算ガナイカ
ラ開カヌ、或ハ左様ナモノハ開ク必要ガアツ
テモ豫算ガナイカラ、先ヅ有耶無耶ノ間ニ
濟マスト云フデアリマスガ

○飯沼政府委員 中央委員會ハ之ヲ開キマ
スコトハ、別ニ豫算ガナクテモ開キ得ルト
思ヒマス、唯從來モ中央委員會ヲ開イタコ
トガアリマセヌノデ、豫算ニソレダケノ金
ヲ計上シテ置カナクテモ、又必要ガアツタ場
合ニハ何トカ他ノ方カラデモ此經費ヲ出シ
マシテ、サウシテ委員會ヲ開クコトハ是ハ
出來得ルト思ヒマス、中央委員會ハ將來開
ク必要ガナイトマデ今日考ヘテ居ル譯デア
リマセヌ

○堀川委員 極ク簡單ナ事柄デアリマス
ガ、二三御尋致シタイト思ヒマス、都市計
畫法ヲ設ケテ、サウシテ交通、衛生、保安、
經濟等ニ關シマシテ、永久的ニ其都市ノ福
利ヲ増進スル計畫ヲ樹ツルト云フコトハ、
是ハ恐ラク理想ノ都市ヲ建設スルト云フコ
トノヤウデアリマスガ、其地方々々ニ應ジ
タ理想ノ都市ヲ建設スルト云フノデアリマ
シテ、現在其都市ニアル所ノ道路ヲ必シモ
擴張スルト云フダケガ趣旨デハナイト考ヘ
ルノデアリマス、今度單ニ市ノミニ拘ラズ、

主務大臣ノ指定スル町村ノ區域ニモ其適用
ヲ致サレルト云フコトハ結構デアリマス、
併シ區域ガ決定致サレマシテモ、其實施
ガ其都市ノ狀況ニモ依リマスガ、都市ノ財
政狀態ニ依リマシテハ十年先トモ、二十年
先トモ、三十年先トモ分ラヌト云フノガ普
通ノ狀態デハナイカ、大都市ハサウデモア
リマセヌガ、人口三萬、五萬ノ程度ノ都市
ニ於キマシテ、何時實施スルカ、何時著手
セラレルカト云フコトハ、殆下其市ノ當局
者モ見當ガ付カナイ、餘程財政ノ餘裕ガ付
カナケレバ出來ヌト云フ狀態デハナイカト
考ヘルノデアリマス、今度政府ハ時局匡救
ノ事業費ノ一部ヲ認メラレタノデアリマ
ス、五十萬圓見當ノ補助金ヲ計上セラレマ
シタト云フコトハ、斯ウ云フ都市計畫ガ決ッ
テ居ルノニ、著手ヲ躊躇シテ居ルト云フ所
ノ都市ニ對シテハ非常ナ福音デアリマス、
若干ノ補助デモ與ヘラレマシタト云フコト
ハ、自然其著手ヲ促進スルコトニナルノデ
アリマシテ、洵ニ結構ナコトト考ヘルノデ
アリマス、所ガ承リマスノニ、今度與ヘラレ
マス所ノ補助金ハ、事業ノ經營ヲスル國縣
道ニ限ッテ與ヘルト云フコトニナッテ居ルト
思フノデアリマス、若シ其都市ノ重要ナル
道路ヲ單ニ擴張ゲルト云フ目的デアリマスナ

ラバ、國縣道ニ限ルト云フコトハ至極結構
ナ事デアルト思ヒマスガ、其都市全體ヲ一
ツノ理想ノ都市ニスルト云フ計畫ノ上カラ
考ヘマスト云フト、既ニ國縣道トシテ相當
ノ幅員ヲ持ッテ居ル所ノ道路ヲ更ニ擴張ゲル
ト云フコトヨリモ、或ル場所ニ於キマシテ
ハ新市街ヲ造ル、而シテ國縣道デナイ所ノ
方面ニ新シイ道路ヲ造ル、道路網ニ依ル所
ノ新シイ道路ヲ造ルト云フコトガ極メテ急
要デアリマス、而モ安クテ出來ル、將來更ニ
現在ノ繁榮致シテ居ル國縣道ニ沿ウテ道路
ノ擴張ヲスル場合ニハ、曩ニ比較的閑散
地、或ハ田畑ニナッテ居ルヤウナ所ニ新市街
ヲ造ッテ置イタ爲メ非常ニ工事ガヤリ易イ、
斯ウ云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、
サウ云フ事カラ考ヘマスト、何故ニ國縣道
ノミニ折角與ヘラレル補助ヲ限ラレタカ、
其點ヲ先ヅ第一ニ承リタイト思ヒマス

○飯沼政府委員 昭和八年度ニ於テ中小都
市ノ都市計畫事業トシテ、街路改良工事ニ
著手致シマスモノハ、只今御話ノ通り國道
府縣道デアリマシテ、而モソレヲ都市計畫
事業トシテ執行サレル場合ニ、補助ヲサレ
ルト云フコトニナッテ居リマス、是ハ時局匡
救關係ノ豫算ノ一部デアリマシテ、今回補
助ヲ致シマス趣意ハ、或ハ失業救済ノ道路

デアリマストカ、或ハ農村振興、産業振興
ト云フヤウナ事業ガ市ノ外側へ出來マシテ
而モ市街地ノ内ニ入りマスト金ガ掛ッテ中
中工事がヤリ難イト云フヤウナコトノ爲
ニ、モウ少シノ所デ市ノ内マデ連絡ノ出來
マスモノガ、途中デ切レテ居ルト云フ箇所
ガボツ／＼ト各地方ニ於テ現ハレテ參リマ
シタノデ、サウ云フ箇所ヲ執行致シマスコ
トニ依テ、他ノ時局匡救ノ工事ノ一層其效
能ヲ發揮セシメルト云フ趣意カラ致シマシ
テ、只今ノヤウナ事ニ致シタノデアリマス、
只今御尋ノ何故モットマダ市街地ニナラナ
イヤウナ所デ安ク工事ノ出來ル所ニ、國道
府縣道ト限ラズ、都市計畫トシテ決ッテ居
ル道路ヲ執行シナイカト云フ御尋デアリマ
スガ、サウ云フヤウナモノデアリマシテモ、
今回ノ補助ハ必シモサウ云フモノハイカヌ
ト云フノデアリナイノデアリマシテ、先程申
シマシタヤウニ、都市ニ依リ市ノ外側トヲ
連絡スル箇所デアリサヘシマスレバ、必シ
モ市街地ノ人家ノ密集シタ方面デナケレバ
ナラヌト云フコトヲ申スノデアリマセ
ヌ、ソレハ將來國道若クハ府縣道トナルベキ
道路デアリサヘスレバ、現在國道府縣道デ
アルモノハ勿論デアリマスケレドモ、又將
來改良スルモノニ付キマシテ國道府縣道ニ

ラバ、國縣道ニ限ルト云フコトハ至極結構
ナ事デアルト思ヒマスガ、其都市全體ヲ一
ツノ理想ノ都市ニスルト云フ計畫ノ上カラ
考ヘマスト云フト、既ニ國縣道トシテ相當
ノ幅員ヲ持ッテ居ル所ノ道路ヲ更ニ擴張ゲル
ト云フコトヨリモ、或ル場所ニ於キマシテ
ハ新市街ヲ造ル、而シテ國縣道デナイ所ノ
方面ニ新シイ道路ヲ造ル、道路網ニ依ル所
ノ新シイ道路ヲ造ルト云フコトガ極メテ急
要デアリマス、而モ安クテ出來ル、將來更ニ
現在ノ繁榮致シテ居ル國縣道ニ沿ウテ道路
ノ擴張ヲスル場合ニハ、曩ニ比較的閑散
地、或ハ田畑ニナッテ居ルヤウナ所ニ新市街
ヲ造ッテ置イタ爲メ非常ニ工事ガヤリ易イ、
斯ウ云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、
サウ云フ事カラ考ヘマスト、何故ニ國縣道
ノミニ折角與ヘラレル補助ヲ限ラレタカ、
其點ヲ先ヅ第一ニ承リタイト思ヒマス

ナリマス路線デアリマスナラバ、矢張サウ云フモノモ今回ノ補助ノ路線ノ中ニ入ッテ來ル譯デアリマス、ソレカラ國道府縣道ニ限リマシタノハ、市道ニ至リマシテハ矢張其市ニ於テ事業ヲ執行サレルコトガ適當デハナイカト考ヘマシテ、豫算ノ中ニハ入レナカッタノデアリマス、道路法ニ依リマスト管理者ノ執行致シマス道路ニ對シテハ、補助ヲ出シ得ルヤウナ規定ニナッテ居リマスガ、

中小都市ニ於キマシテハ、市長ハ國道府縣道ヲ管理シテ居ラレマセヌ、隨テ道路法ニ依テハサウ云フ場合ニ——ト申シマスノハ市長方國道府縣道ヲ都市計畫ノ事業トシテ執行サレタ場合ニ道路法ニ依テ補助ヲ出ス見込ハアリマセヌノデ、而モ都市計畫法ハ、中小都市ニ於ケル都市計畫事業ヲ市長方之ヲ實行サレルコトガ原則ニナッテ居リマスノデ、其邊ノ不權衡ヲ矯正スルト云フヤウナ意味ヲ以チマシテ、國道、府縣道ニ限ッテ補助ヲスル、斯ウ云フコトニ致シテ居ル譯デアリマス

○堀川委員 御趣旨ハ能ク了解致シマシタガ、何トカ之ヲモウ一ツ擴張セラレテ、市道デアルトカ、將來必シモ縣道ニナラナクとも、都市計畫道路トシテ決定セラレテ、サウシテソレヲ先ニヤリマシタナラバ、他日國道或ハ府縣道デアアル所ノ都市計畫街路

ノ道路ヲ擴張スル場合ニ於テハ、非常ニヤリ易イ、斯ウ云フ所ガ多クアラウト思ヒマス、サウ云フモノニ對シテモ矢張補助ヲ與ヘラレルヤウニ、一ツ御研究ニ預リタイノデアリマス、八年度ハサウ云フ風ニ決ッテ居ルノデアリマスガ、今後其點ヲ御考願ヒタイト考ヘマス、大體多クノ都市ニ於キマシテハ、國道或ハ府縣道ハ都市ノ中心地ヲ縱貫スル道路ガ多イノデ、サウ云フモノニ著手シマスと、幾ラ金方掛ルカ分ラヌ處ガアルノデアリマス、若シ郊外ニ於テ是ト並行スル、必シモ將來國道トナラズ、或ハ府縣道トナラズとも、相當ニ之ヲヤリマス爲ニ其土地ガ繁榮ヲスル、サウシテソコニ大キナ道路ガ幾本カ出來マシタ爲ニ、國縣道ノ改良工事ガ——都市計畫事業トシテノ改良工事ガ非常ニヤリ易クナル、斯ウ云フ所

モ都市ニ依テ多クアルト思フノデアリマス、ソレト、都市ノ狀況ニ依リマシテ考慮セラレテ、必シモ他日國道或ハ府縣道ニナルベキモノデナクとも、相當ニ補助ヲ考慮セラレタイ、サウ云フコトニ考フ向ケテ貫ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ今度五十萬圓デアリマシタカ、補助ヲ計上セラレテ居リマスガ、ソレニ依テドレダケノ都市ガ——全國ニハ百幾ツノ都市ガアルノデアリ

マス、サウシテ都市計畫ノ實施ニ著手シ、道路網ノ決定シタノハ幾ツモアリマスガ、八十位アルノデハナイカト思フノデアリマスガ、其五十萬圓ノ金ドノ位ノ補助ガ出來ルモノデアアルカ、大體ドノ位ニ分配サレルカ、幾ツ位ノ都市ガソレニ該當スルノデアリマスカ、是ハ大雜把デ宜シウゴザイマスカラ、承リタイノデアリマス

○飯沼政府委員 街路網ガ今日迄ニ決リマシタ都市ノ數ハ約四十位ダト考ヘマス、其中先程申上ゲマシタヤウナ箇所ニアリマス場所ヲ選定スル譯デアリマスガ、今日ハマダ幾ツト云フコトハ決定致シテ居リマセヌ、何レ豫算ガ決リマシタナラバ、各地方ニ照會ヲ致シマシテ、ソレ等ノ箇所ヲ選定致シタイト考ヘテ居リマス、何分總額ニ於テ餘リ澤山デアリマセヌノデ、成ベク一箇所ニ片寄ラズニ、廣ク之ヲ振り撒クコトガ適當デナイカト考ヘマスノデ、一都市ニ對スル補助金額ト云フモノハ、サウ多クハナカラウト考ヘテ居リマス

○堀川委員 都市計畫ノ實施ニ當リマシテ、先刻モ申シマスヤウニ、六大都市ハ別トシテ、中小都市、又ハ今度加リマス所ノ町村ニ於キマシテ、之ヲ實施スルト云フコトニナルト、財政上ノ困難ニブツカルノデ

アリマス、之ニ對シマシテ其資金トシテハ特別稅ノ制度モアリ、受益者ニ負擔ヲ課ケルト云フコトモアリマス、所ガ都市ニ依リマシテハ、受益者負擔コロデハナイ、却テソレガ爲ニ受損者ヲ生ズルト云フヤウナ理窟モマア立タヌコトハナイ、隨テ受益者負擔ト云フヤウナコトハ中々實行困難ナコトデアアル、此頂戴シマシタ表ニ依リマスルト、大體總工費ノ三分ノ一乃至四分ノ一ヲ負擔サシテ居ルノデアリマス、果シテ是ガ實際ニ於テ圓滿ニ取レテ居ルカ、從來ノ例ヲ御示シ願ヒタイノデアリマス、私共ノ考デハ、餘程是ハ困難ナコトデアリマシテ、假ニ府縣知事ガヤルト云フ場合ニハ其力ガ強ウゴザイマス、隨テ相當ニ受益者負擔ヲ取レルモノト考ヘマスケレドモ、市長ニ於テ之ヲ取ルト云フ場合ニハ、其徵收ハ極メテ困難ナコトデハナイカト考ヘテ居リマス、其點、ソレカラ低利資金ノコトデアリマス、之ニ對シテハ預金部並ニ簡易保險局ガ相當ニ——是ハマアソレト、其都市ノ財政

狀態ニ依テ決ルノデアリマセウカラ、サウ一口ニハ御話ニナルコトハ出來惡イトハ存ジマスガ、ソレト、其都市ノ狀況ニ依テ相當ノ低利資金ノ融通ガアルモノト思ヒマスガ、其點御考ヘニナッテ居ル所ヲ御話願ヒタ

イト思ヒマス

○飯沼政府委員

各都市ニ於ケル都市計畫事業ノ財源トシマシテノ、受益者負擔ニ付テノ御尋デゴザイマシタガ、會テ六大都市ニ始メテ受益者負擔ノ制度ヲ布キマシタ當時、名古屋、京都、兵庫ト云フヤウナ各都市ハ、實際ノ利益ヲ受ケテ居ラヌト云フヤウナコトヲ理由ト致シマシテ、行政訴訟ナドモ提起サレタト云フコトハ、私共モ聞イテ居ルノデアリマスガ、中小都市ニナリマシテカラハ、サウ云フヤウナ問題ガ餘リナイヤウニ聞イテ居リマス、勿論此中小都市ニ於テ受益者負擔ノ規定ヲ置キマス場合ニハ、從來其都市ニ於テドウ云フヤウナ慣行ガアツタカ、道路ヲ新シク造ル場合ニハ、其町内或ハ地元等ニ於キマシテ、相當ノ寄附ヲシテ居ルヤウナ實例ガ各地ニ段々アルヤウデアリマス、サウ云フヤウナ實例ヲ基ト致シマシテ、是迄ト餘リ變リノナイヤウナ負擔ノ制度ヲ執ッテ行クト云フコトヲ心懸ケテ居リマス、例ヘバ静岡市ノ如キニ於キマシテハ、其開路事業ニ付キマシテハ二分ノ一ノ受益者負擔ヲ取ルト云フコトニ從來ナツテ居ルノデアリマス、是ナドハドウモ私共カラ見マシテ少シ重過ギヤシナイカト云フ念ヲ起シタノデアリマスガ、其地元ニ於テ

ハ、イヤ從來トテモサウ云フ負擔ヲシテ居

ル、サウ云フ寄附ヲシテ居ルノデアルカラ、是迄トノ權衡モアリ、旁、サウ云フ規定ヲ設ケテ貫ヒタイト云フコトデ、二分ノ一ノ負擔ト云フヤウナ實例モゴザイマス、サウ云フヤウナ譯デ、ハ各地方ソレソレ事情ガアルコト、思ヒマスガ、中小都市ニ付キマシテハ左マデ苦情ガ多クテ仕事ガ運バヌト云フヤウナコトハ、實ハ私共餘リ見テ居リマセヌ、ソレカラ都市計畫事業ニ對シテ、低利資金ノ融通ノコトニ付テ御尋デアリマシタガ、是モ從來大藏省預金部ノ方ヘ御願致シマシテ、御都合ノ付ク限り低利資金ノ融通ヲ戴イテ居リマス、都合ニ依リマシテ融通ヲ受ケ得ナカッタ都市ナドモゴザイマスガ、年々御相談ヲシ、御願ヲ致シマシテ、出來ルダケ多クノ資金ノ貸付ヲ御願シテ居ル譯デアリマス、六大都市ヲ初メト致シマシテ、中小都市ニ於キマシテモ、都市計畫事業ノ資金ト致シマシテ、低利資金ノ貸付ヲ是マデ御願シテ居リマス

○堀川委員

此受益者負擔ト云フモノハ是非ハヤラナケレバナラヌモノデアリマスカ、ソレトモ地方ノ狀況ニ於テ受益者負擔ヲ取ラナクテモ賄ヘレバ、取ラナクテモ宜イモノデアリマスカ、一寸其基礎ヲシツカ

リ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ特別稅

○飯沼政府委員

特別稅ハ必シモ事業ノ財源トシナケレバナラヌト云フコトデヤアリマセヌ、各都市ソレソレ色々御事情モ御アリノコトデアリマスカラ、別ニ必ズ特別稅ヲ以テソレヲ財源ニ充テナケレバナラヌト云フコトハ、私共考ヘテ居リマセヌ、ソレカラ受益者負擔ノコトデアリマスガ、是ハ大抵ノ場合ニ若シ沿道ノ者ガ利益ヲ受ケルトシマスレバ、財源ニ非常ニ苦ンデ居ル今日デアリマスカラ、受益者負擔ヲ取ルコトガ適當デハナイカト思ヒマスケレドモ、併ナガラ是モ必ズ取ラナケレバナラヌト云フコトハ都市計畫法ノ規定カラ申シマシテモナイ譯デアリマス

○堀川委員

今度ハ地區ノコトデアリマスカ、例ヘバ商業地區トカ、住宅地區、ソレカラ風致區域、公園ト云フヤウナモノデスガ、其公園又ハ風致區域ニ決定サレタ、其決定ノ權威ト申シマスカ、例ヘバ或個人ノ所有地ガ茲ニアル、ソレガ風致ノ地區ニ決定サレタ場合ニ於テ、其所有者ニ勝手ニサセナイ、都市ニ於テ干涉シ得ルカドウカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

○飯沼政府委員

公園ト云フモノヲ都市計畫トシテ決定致シマシタツケデハ、個人ノ權利ヲ制限スルコトハ出來マセヌ、併シ都市計畫事業トシテ決メレバ、個人ノ權利ヲ制限シ得ル規定ニナツテ居リマス、ソレカラ風致地區ニ付キマシテハ、風致地區トシテ決定サレマスレバ、地方長官ガ縣令ヲ出シマシテ、其地區内ニ於ケル建物デアリマストカ、或ハ其他ノ工作物ト云フヤウナモノニ付テ、或ル程度ノ制限ヲ付シ得ル譯デアリマス、現ニ是ハ既ニ數府縣ニ先例ガ出來テ居リマス

○堀川委員

預金部長サンニ一寸承リタイノデスガ、昨年ノ暮デアリマシタカ、預金部ノ郵便貯金ノ利下ニ伴ヒマシテ、ソレノ公共團體ニ對スル貸付ハ六厘方下ゲラレタ、洵ニ結構ナコトデアリマス、併ナガラ六厘下ゲラレマシテ其結果ハ大體ドウナツテ居リマスカ、地方ニ依テ、又貸付條件ニ依テ違ヒマセウガ、四分六七厘ト云フ所デアリマス、貸付ガ四分六七厘、預カレ金ト貸ス金トノ差ガ多過ギル、是ハモウ少シ下ゲル餘地ハアリマセヌカ、其點ヲ承リタイ

○川越政府委員

御尤ナ御質問デ能ク私共聞クノデアリマスガ、從來預金部ノ低利資金ハ、少シ前ハ御承知デアリマセウガ四

分八厘、中頃カラ四分二厘ニナリマシテ、現在ハ三分二厘デアリマス、四分八厘デ出シマシタモノガ六厘下ッテ四分二厘ニナッテ居リマス、四分二厘デ出シマシタモノハ三分六厘ニナッテ居リマス、新シイモノガ三分二厘、斯ウ云フヤウナ色々ノ階段ガアリマスガ、要スルニ低利資金トシテ是カラ出スモノハ三分二厘、從來ノモノハ四分二厘若クハ三分六厘ノモノガ相當アルノデアリマス、所ガ御承知ノ如ク預金部ノ資金ハ主トシテ大部分ハ郵便貯金デアリマスガ、是ハ御案内ノ通り全部三分二厘下ッテデアリマス、所ガ一方ニ於テ預金部ハヤハリ銀行ト同ジヤウナ仕事ヲシテ居リマスノデ、銀行デ申シマスレバ預金ヲ集メル方ノ經費ト云フモノガ相當ニ掛ルノデアリマスガ、是ハ御承知ノ通り郵便貯金デアリマスカラ、無論郵便局デ取扱フノデアリマスケレドモ、郵便局デ郵便貯金ヲ取扱ヒマス其經費ノ大部分ヲ預金部ガ持ツコトニナッテ居リマス、是ハ最近出來タノデアリマスケレドモ、今日デハ殆ド千萬圓バカリノモノヲ預金部デ持ッテ居リマス、サウ致シマスト三分デ預カリ、ソレニ對シテ事務費ト申シマスガ、或ハ取扱費ト申シマスガ、サウ云フ程度ノ取扱費ヲ出サナケレバナラス、又有價證券ノ

値下リトカ或ハ貸倒レトカ云フヤウナ場合ニ、減價銷却ノコトモ考ヘテ置カナケレバナラス、デアリマスカラ三分デ預カッタモノヲ三分ニ運用スルト云フコトハ到底出來ナイノデアリマスガ、能ク銀行デヤッテ居ル如ク、資金ノ「コスト」ガドレ位ニ付イテ居ルカト云フコトヲ研究シテ見マスト、先程申上ゲタヤウニ、先以テ郵便貯金ノ利息、事務費ヲ拂ヒ、相當ノ減價銷却ヲ其中ニ控除致シマシテ、大體今日持ッテ居リマス預金部ノ資金ト云フモノハ「コスト」ノ上カラ云ッテ、平均シテ三分八厘ニ運用シナイト預金部ノ算盤ガ持テヌコトニナルノデアリマス、併シ預金部ハ相當公債ヲ有ッテ居リマシテ、公債ノ利廻五分以上ニナルモノモアリマス、又特ニ低利ヲ必要トシナイ資金ニ付キマシテハ、五分位デ出ス場合モアリマス、預金部ノ金ハ低利資金ト、ソレカラ低利資金デナイ、普通ヨリモ少シ安クシテ、公債ノ利廻ト云フモノヲ標準ニシテ出ス場合ノ兩方アリマス、是等ノモノヲ總平均シテ、全體ノ資金ノ運用ト云フモノガ大體三分八厘位ナラバ宜シイト云フコトヲ睨ンデ居リマス、最近ハ三分二厘ト云フ非常ニ安イ利息デ出シテ居リマスガ、是ハ時局匡救ト云フヤウナコトデ、ドウシテモ利息ヲ安クシ

ナケレバナラス特殊ノ事情ガアリマスノデ、實ハ「コスト」ヲ切りマシテ、「コスト」以下ニ運用シテ居リ、一方ニ於テ公債其他ノ方法デ埋合ヲ付ケルト云フコトデ大體進行シテ居リマス、サウ云フ状態デアリマスノデ、將來是カラ出シマス時局匡救ノ新シイモノヲ三分二厘デ抑ヘテシマフト、他ノ從來出シマシタ金ヲ、郵便貯金ガ一分下ガッタカラ一分、二分下ガッタカラ二分ト、同ジ割合デ減ラス譯ニ行カナイ、ソレデ從來ノモノニ付テハ六厘下ゲルト云フコトデ昨年ノ十二月カラ實行シテ居リマスガ、金利ノ状態ガ將來ドウナルカ、郵便貯金ノ利息モ今三分デアリマスガ、將來モト下ガルモノカ、又多少値上ヲシナケレバナラスモノカ、一寸今ノ所見當ガ付キマセヌノデ、取敢ヘズ只今ハ今申上ゲタヤウナ方針デ運用シテ居ルノデアリマスガ、將來又金利ノ變化ガアリマシタナラバ、相當考ヘナケレバナラスコトガアルカト思ッテ居リマス

トカシテ此點ヲ變更スルコトハ出來マセヌカ、此點ヲ考ヘテ貫ヒタイ、ソレカラ預金部ノ貸出資金ハ大體期限ガ二十年トカ二十年ト云フコトニナッテ居リマス、サウシテ他ノ銀行、勸業銀行或ハ農工銀行ヲ經由シテ貸付ケテ居ル、所ガ地方ノ狀況ニ依リマシテハ、比較的好景氣時代、大正七年カラ十年頃ニ借リタ金デ、サウシテ其後經濟界ガ非常ニ變化シテ豫定ノ利益ヲ擧ゲルコトガ出來ナイ、是ガ爲ニ借金ノ利拂ノ爲ニ新タニ借金ヲシナケレバナラスト云フ狀況ニ在ル所モ相當ニアルト考ヘルノデアリマス、サウ云フ者ニ對シテハ、五年トカ十年トカ貸付期限ヲ延長スルコトハ出來マセヌカ、其點ヲ伺ヒタイ

○堀川委員

尙ホモウ一ツ之ニ關聯シテ御

○川越政府委員

始メニ御話ニナリマシタ

預金部ガ銀行其他ノ仲介機關ヲ經由シテ出シマス場合ニ於キマシテ、是等ノ仲介機關ガ若干ノ利鞘ヲ取りマス、サウスルト預金部ノ出ス金ト、最後ニ借リル金トノ間ニ相當ノ差ガアリマス、之ヲ成ダケ無クスルト云フコトハ、御尤ナ御質問デアリマシテ、私共モ成ダケサウ云フコトヲシタイト考ヘテ居リマス、實ハ昨年ノ六十二議會デアリマシタカ、豫算ヲ要求致シマシテ、昨年ノ十二月カラ或ル程度ノ直接貸ト云フモノ

ヲ始メタノデアリマス、御承知ノ通り府縣並ニ六大都市ニ付キマシテハ、前カラ直接貸ヲ致シテ居リマシタカラ、利鞘ノ關係ハナカッタノデアリマスガ、六大都市以外ノ市町村ニ付キマシテモ、從來ハ銀行經由デ行ッテ居ッタモノヲ、今ノヤウナ御話デ、利率ガ高クナリマスノデ、之ヲ直接貸ニ改メタノデアリマス、昨年ノ十二月カラ府縣、六大都市並ニ市町村、地方公共團體ニ貸シマス金ハ、全部預金部カラ直接出スト云フコトニ

シ、信用状態ト致シマシテモ比較的分リマスカラ、直接監督シテ居ル團體、是等ニ對シテハ懸念セズニ直接貸スト云フコトニ致シマシテ、先ヅ其第一歩トシテ實行シタノデアリマス

ナリマシタ、隨ヒマシテ從來銀行ガ取テ居リマシタ利鞘ダケ金ヲ借りルモノガ安ク借リラレルト云フ状態ニナッテ居リマス、唯殘リマスノハ、各種ノ組合ニ出スモノ、竝ニ個人等ニ行ク金デアリマスガ、是ハ現ニ銀行ヲ經由シテ出スコトニナッテ居リマスノ

ソレカラ次ニ好景氣ノ時代ニ金ヲ貸シタモノガ今日不況ノ爲ニ非常ニ困ッテ居ル、ソレニ對シテ何トカ考ヘテ居ルカト云フコトデアリマスガ、是ハ屢々御説明中上ゲマシタ通り、農村並ニ中小商工業者ニ對シテ元利償還資金ト云フモノヲ貸シテ居ルノデアリ

デ、若干利鞘ヲ取ラレマス、餘リ一度ニ擴張シテ、預金部ガ從來銀行ヲ經由シテヤッテ居ッタモノヲ全部直接貸ニスルト云フコトハ、到底事實ノ上カラ出來ナイノデアリマス、日本全國ニ互ッテ個人トカ組合トカト云

救ノ仕事ヲ政府ガヤッテ居ル間ハ、農村ニ致シマシテモ、中小商工業者ニ致シマシテモ、非常ニ經濟ガ困難デアルト云フコトヲ察シマシテ、此七年度、八年度、九年度ト此三箇年間ニ元利償還ノ期限ノ到來スルモノニ

フモノハ小サイモノデアリマスカラ、ソレ等ノモノヲ一々信用状態ヲ調べマシテ、貸出シヨスルトカシナイトカ云フコトヲ決メ

テ、延期シタト同ジ結果ヲ得セシメツ、アル、其金ヲ今逐次ニ貸出シヨシテ居ル最中

ルコトハ困難デアリマス、唯地方公共團體ハ政府ガ監督シテ居リマスコトモアリマス

金ヲ貸シテヤッテ居ル、是ハ二十箇年デ貸シテヤル、言換ヘレバ二十箇年償還ガ延ビタヤウナ形ニナルノデアリマス、直接延期ト云フノデアリマセヌケレドモ、新シイ資金ヲ長イ期間デ供給スルト云フ手段デヤッ

デアリマス

○堀川委員 今ノ御話ハ延期出來ナイモノデセウカ

○川越政府委員 延期ト云フコトデアリマスガ、五年延バス六年延バスト云フヨリモ、新シク金ヲ借りテ、二十箇年デ借リタ

方ガ宜クハアリマセヌカ、或ハ何年カ延バス方ガ宜イカモ知レマセヌガ、先ヅ七年度八年度、九年度ノ三箇年間ヤッテ見タラ、大體景氣ガ直ルカ直ラナイカ分リマセヌケレドモ、其時ニナッテモウ一遍考ヘテ見テモ宜

イト云フコトデ、差當リ今ノヤウナ手段ヲ採ッテ居リマス、三年延バス、五年延バスト云フコトヨリモ、寧ロ其方ガ利益デナイカト思ヒマス

○加藤委員長 本日ハ引續イテ會議ヲ開キタイト思ヒマシタガ、此室ヲ他ノ委員會デ使用スルト云フコトデ差支ヘマスノデ、此程度デ本日ハ散會致シマス
午後零時五十六分散會